

第2回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年5月)

2020年5月21日

緊急事態宣言下の「生活自由度」は51.2点 前月から3pt低下 収入や健康への【不安】は減少、ネット通販・テレワークなどの【行動変化】は増加 特別定額給付金の使途は「決めていない」が35.7%で最多

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2020年5月、新型コロナウイルスの感染が拡大している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施いたしました(調査実施は5月7-11日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20-69歳の男女1,500名、一部調査項目については3月より実施 調査概要は9ページ参照)。

感染拡大以前の普段の状態を100点としたとき、現在の状況下における「生活自由度」が何点くらいかをきいたところ、51.2点となりました。政府による緊急事態宣言前に行った4月調査の数値から約3pt低下しています。

また新型コロナウイルス感染拡大に伴う不安や、抑制している行動、変化している行動など39項目について尋ねたところ、【不安度】については「自分や家族の仕事・収入に不安を感じる」(63.9%)など、高い水準にはあるものの、4月調査からは減少しています。一方で【行動抑制度】【行動変化度】については「外食を控えている」(91.0%)、「外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている」(59.5%)など、4月から増加した項目が目立ちました。また特別定額給付金の使い方については「決めていない」(35.7%)が最多でした。「明確に決めていない」は17.5%で、「何となく決めていない」32.7%と合わせて約50%となりました。

本調査は当面の期間実施し、毎月第3-4週頃に発表する予定です(今後の状況変化により、調査内容等を変更する可能性があります)。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

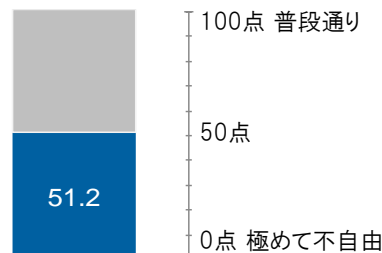
【質問文】新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか？

普段通りの暮らしを100点とすると

現在の生活自由度は

51.2点

前月比 -3.1pt



新型コロナウイルス影響下での意識・行動【一部抜粋】

【質問文】新型コロナウイルス感染拡大を受け、次のような意見があります。それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。(単一回答:あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

「あてはまる」「ややあてはまる」回答率
※()内は前月比

不安度

自分や家族の仕事・収入に不安を感じる	63.9% (- 5.7pt)
海外の情勢に不安を感じる	78.5% (- 5.0pt)
自分や家族の健康に不安を感じる	73.9% (- 4.3pt)

行動抑制度

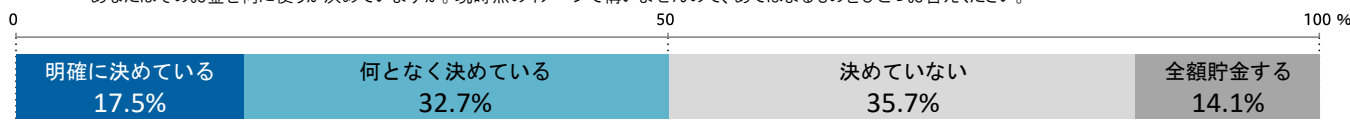
外食を控えている	91.0% (+ 8.3pt)
不要不急の買い物を控えている	90.6% (+ 6.4pt)
交友・交際を控えている	89.7% (+ 4.6pt)

行動変化度

外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている	59.5% (+20.6pt)
できるだけテレワークをするようにしている ※有職者のみ(n=1,074)	41.3% (+17.8pt)
外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる	86.9% (+12.3pt)

特別定額給付金の使い方

【質問文】新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急経済対策として、国民一人あたり10万円が給付されるという発表がありました。あなたはそのお金を何に使うか決めていきますか。現時点のイメージで構いませんので、あてはまるものをひとつお答えください。



- 新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」について、感染拡大以前の普段の状態を100点としたとき、全体では51.2点となり、4月から3.1pt減少しました。緊急事態宣言の発令・延長が、自由度の低下に影響を及ぼしているようです。
- 男女別では男性が50.3点と、女性の点数が若干上回りました。男性は4月から5.0pt減で、減少幅が比較的大きくなっています。年代別では全ての年代で4月から点数が減少。特に20代は最も低く49.4点と、唯一50点を下回りました。
- 「生活自由度」の理由を自由回答で聴取したところ、比較的点数の高い人からは、「不自由さを感じる一方で、前向きな変化もあった」旨の声が挙げられました。一方で、点数の低い人からは、収入低下や、感染を警戒しながら生活するストレス、小さな子供や要介護者を抱えていることでのストレス、自由な外出や買い物制限されることでのストレスなどを挙げる声が見られました。

性別/年代別結果

		スコア		差分
		2020年 4月調査 (点)	2020年 5月調査 (点)	4月→5月 pt
※()内は調査人数				
全体	(1500)	54.3	51.2	−3.1
男性	(755)	55.3	50.3	−5.0
女性	(745)	53.2	52.1	−1.2
20代	(241)	53.3	49.4	−3.9
30代	(286)	52.7	51.0	−1.7
40代	(375)	52.8	52.0	−0.8
50代	(319)	55.2	50.8	−4.5
60代	(279)	57.6	52.2	−5.5
首都40km圏	(500)	52.0	50.5	−1.5
名古屋40km圏	(500)	57.9	52.1	−5.8
阪神30km圏	(500)	52.9	50.9	−2.0

5pt以上の増加 10pt以上の増加 5pt以上の減少 10pt以上の減少

生活自由度の高・中・低割合

		高中低割合		
		高 (61点以上) (%)	中 (41～60点) (%)	低 (40点以下) (%)
全体	(1500)	31.7	33.5	34.7
男性	(755)	30.2	34.0	35.8
女性	(745)	33.3	33.0	33.7
20代	(241)	30.7	29.0	40.2
30代	(286)	32.9	29.7	37.4
40代	(375)	32.8	35.2	32.0
50代	(319)	30.1	37.0	32.9
60代	(279)	31.9	35.1	33.0
首都40km圏	(500)	31.4	31.6	37.0
名古屋40km圏	(500)	33.2	35.8	31.0
阪神30km圏	(500)	30.6	33.2	36.2

全体より5pt以上高い 全体より10pt以上高い 全体より5pt以上低い 全体より10pt以上低い

生活自由度の回答理由(自由回答から一部を掲載)

生活自由度	高 (61点以上)	何も不自由を感じていない。むしろこの生活の方がいい。在宅で通勤ラッシュもなく、家族との時間も取れ、時間内に仕事が終わるなんの問題もない。むしろ勤務が在宅でなくなったのが怖い。プライベートの時間を割いてまで家族を犠牲にしてまで働く意欲がなくなった。	100点	女性44歳・大阪府
		上限が100点だが正確には200点だ。コロナ前は仕事で人権がないくらい働かされていた。コロナ自粛によってかえって人間らしい時間に起きて、人間らしく食事をして寝られ、さらに自由な時間も増えた。	100点	男性33歳・埼玉県
		自由に外出できないことは不自由に感じるが、煩わしい人付き合いが無くなり、普段なら外出しなければならぬことも正当な理由で避けることができるから。	95点	男性29歳・神奈川県
		在宅ワークで、初めはかなりの違和感や不自由を感じたが、なれると諦めもあってこの程度で仕方ないと思えるようになると、結構、仕事が楽になった。悪い事はばかりじゃない。	75点	男性63歳・東京都
		部活動の試合がなくなったり、就職活動に支障が出ているのは不満だが、家族と過ごす時間や自分の時間が増えたことが嬉しい。	65点	女性21歳・兵庫県
	中 (41～60点)	子供が小さく留守番も出来ないし預ける人がいないので、感染が広がっていても買出しや用事、どこに行くにも子供を連れて行かないといけない。	60点	女性42歳・大阪府
		自由に外出ができないし、スーパーでの買い物ですら人と一定の距離をとらなければならず不自由。	60点	女性47歳・神奈川県
		友人と交流する機会が全くなかったことや、家で過ごすことが多くなり、家族の中でストレスが溜まっている。	50点	男性62歳・東京都
		高齢者である親が要介護者だが、頻繁に会うのに躊躇いがあるため。また、気のおけない友人との会食ができないことが残念なため。	50点	女性55歳・大阪府
		仕事は今まで通りの状態で収入面の不安はないが、世の中が暗く様々な娯楽が制限されており、生き苦しさやストレスを感じる。世間の風潮に対して少数意見や反対意見を主張しづらい世の中になっている。	50点	男性39歳・愛知県
	低 (40点以下)	アルバイトが休みで収入ゼロ、学校の授業もWebになって友だちと会えない、就職活動に大きな影響があるから。	40点	女性22歳・大阪府
		人・人感染、人・物・人感染に注意するため、他人と距離をとり物にもできるだけ触れないように神経質になっている。	30点	男性64歳・三重県
		保育園で勤務しているため、感染症予防に気を張りつめることが多く、気疲れを感じるから。	20点	女性32歳・大阪府
		自分として必要最低限の物を手に入れるお店ですら休業していて、強い憤りを感じる。実際に手に取る必要がある書店や衣料品店まで閉まっているから。	10点	男性32歳・神奈川県
		生後1ヶ月の赤ちゃんがおり本来なら徐々に外出できるはずだったのに、自宅待機でずっと家にこもらなければならず、産後の心身の変化や疲労も重なって産後うつ一歩手前まで来ているから。	0点	女性32歳・兵庫県

- 新型コロナウイルス影響下での意識や行動について、3-5月の時系列変化をみると、【不安度】は比較可能な全ての項目について、3月から4月にかけて増加し、4月から5月にかけて減少しました。
- 【行動抑制度】は3月から4月にかけて大幅に増加。4月から5月にかけてさらに増加し、全項目が90%前後となりました。
- 【行動変化度】は、比較可能な項目については3月から5月にかけて増加基調が続いており、特に「インターネット通販や出前を利用するようにしている」「テレワークをするようにしている」は4月から5月にかけても大幅な伸びをみせています。
- 4月から5月にかけての変化からは、総じて、新型コロナウイルスに対してただ不安を抱くのではなく、具体的な行動の抑制や変化を進めることで、困難に向き合い、新たな日常を送っていかうとする生活者の様子がうかがえます。

■ 時系列推移(全体ベース・2020年3-5月)

※「あてはまる」「ややあてはまる」回答率
()内は調査人数

		スコア			差分(前月比較)	
		3月調査 (1500)	4月調査 (1500)	5月調査 (1500)	3月→4月 pt	4月→5月 pt
不安度	経済の停滞に不安を感じる	83.2	91.2	90.2	+8.0	-1.0
	行政の対応に不安を感じる	---	86.9	81.1	---	-5.8
	海外の情勢に不安を感じる	---	83.5	78.5	---	-5.0
	情報の不足や不確かさに不安を感じる	74.1	82.3	77.9	+8.2	-4.4
	自分や家族の健康に不安を感じる	70.7	78.2	73.9	+7.5	-4.3
	自分や家族の仕事・収入に不安を感じる	58.1	69.6	63.9	+11.5	-5.7
	人づきあいの変化に不安を感じる	---	---	44.6	---	---
行動抑制度	不要不急の外出を控えている	72.5	89.3	94.2	+16.8	+4.9
	旅行・レジャーを控えている	69.1	88.7	92.9	+19.6	+4.2
	外食を控えている	61.1	82.7	91.0	+21.6	+8.3
	体験型エンターテインメント(ライブ・観劇・映画鑑賞など)を控えている	---	86.7	91.0	---	+4.3
	不要不急の買い物控えている	64.5	84.2	90.6	+19.7	+6.4
	交友・交際を控えている	59.9	85.1	89.7	+25.2	+4.6
行動変化度	マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底するようにしている	84.1	90.8	95.6	+6.7	+4.8
	外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる	58.7	74.6	86.9	+15.9	+12.3
	十分な運動・栄養・睡眠をとるようにしている	---	79.5	79.5	---	±0
	感染対策商品や日用品の備蓄をするようにしている	50.7	60.5	67.1	+9.8	+6.6
	家にいる時間が増えたので、なるべく自分で料理をするようにしている	---	---	65.1	---	---
	外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている	24.7	38.9	59.5	+14.2	+20.6
	公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている	---	46.9	57.0	---	+10.1
	家にいる時間が増えたので、 家の中でできる運動をするようにしている	---	---	55.9	---	---
	家にいる時間が増えたので、 スマートフォンやパソコンなどのゲームを利用している	---	49.3	55.3	---	+6.0
	家にいる時間が増えたので、 動画や音楽などのストリーミングサービスを利用している	---	44.7	50.9	---	+6.2
	人が密集しない屋外で運動をするようにしている	---	---	45.3	---	---
	できるだけ時差通勤・時差通学をするようにしている	25.5	34.4	43.0	+8.9	+8.6
	家にいる時間が増えたので、SNSの閲覧・投稿をしている	---	35.0	42.3	---	+7.3
	できるだけテレワーク(在宅勤務)をするようにしている [有職者ベース]3月n=1,042/4月n=1,051/5月n=1,074	18.2	23.5	41.3	+5.3	+17.8
	人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる	---	38.2	32.5	---	-5.7
	家にいる時間が増えたので、 モノを手作りしている(手芸、リフォーム、DIYなど)	---	---	31.2	---	---
	収入が減ったもしくは減りそうなので、副業を始めた/検討している	---	14.9	23.9	---	+9.0
	家にいる時間が増えたので、通信環境の整備や家電の購入など、 家の中の環境を充実させている	---	21.6	22.9	---	+1.3
	外でお金を使わないぶん、普段より少し良いものを買うようにしている	---	---	20.9	---	---
	通常通りの活動ができないお店・団体を支援するようにしている	---	---	19.7	---	---
	家にいる時間が増えたので、 フリマアプリ・ネットオークションで購入をしている	---	17.6	19.5	---	+1.9
	家にいる時間が増えたので、 フリマアプリ・ネットオークションで出品・販売をしている	---	18.3	19.1	---	+0.8
	家にいる時間が増えたので、オンライン学習をしている	---	14.3	18.9	---	+4.6
	家にいる時間が増えたので、 オンラインで飲み会や食事会をしている	---	---	18.6	---	---
	収入が減ったもしくは減りそうなので、 就職・転職・起業をした/検討している	---	---	18.1	---	---
	家にいる時間が増えたので、投資や資産運用をしている	---	16.3	17.7	---	+1.4

(%) (pt)

5pt以上の増加
10pt以上の増加
5pt以上の減少
10pt以上の減少

- 新型コロナウイルス影響下での意識や行動について、【不安度】の項目の中では「経済の停滞に不安を感じる」が90.2%と最も高い数値となりました。男女別では女性で不安度の高い項目が多くなっています。年代別では比較的20代が低く、50代が高くなりました。
- 【行動抑制度】の項目は「不要不急の外出を控えている」を筆頭に全ての項目が90%前後の数値となっています。男女別では全項目で女性が高くなりました。年代別・エリア別では比較的小幅な差に留まっています。
- 【行動変化度】の項目は「感染対策を徹底するようにしている」が95.6%と最も高くなりました。「ストリーミングサービスの利用」や「オンライン学習」「オンラインの飲み会」など、オンライン/デジタルサービスの利用を中心に、多くの項目で若年層の数値が高齢層を上回りました。また「公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている」「テレワークをするようにしている」については、エリアの差が比較的大きくなっています。

性別/年代別結果

※「あてはまる」「ややあてはまる」回答率
()内は調査人数

		全体	性別		年代						エリア		
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代		首都 40km圏	名古屋 40km圏	阪神 30km圏
		(1500)	(755)	(745)	(241)	(286)	(375)	(319)	(279)		(500)	(500)	(500)
不安度	経済の停滞に不安を感じる	90.2	88.3	92.1	82.2	89.5	91.5	93.4	92.5		89.8	89.6	91.2
	行政の対応に不安を感じる	81.1	76.6	85.6	75.5	78.7	78.4	85.3	87.1		83.0	80.0	80.2
	海外の情勢に不安を感じる	78.5	77.7	79.3	67.6	73.4	79.5	86.2	83.2		80.2	76.2	79.2
	情報の不足や不確かさに不安を感じる	77.9	76.0	79.9	78.8	80.4	76.8	78.1	76.0		81.6	76.6	75.6
	自分や家族の健康に不安を感じる	73.9	69.9	77.9	72.2	74.1	68.3	80.3	75.3		76.0	70.2	75.4
	自分や家族の仕事・収入に不安を感じる	63.9	61.9	66.0	61.4	65.4	66.4	67.1	57.7		65.2	64.6	62.0
	人づきあいの変化に不安を感じる	44.6	45.0	44.2	44.0	47.6	44.0	47.0	40.1		43.6	44.0	46.2
行動抑制度	不要不急の外出を控えている	94.2	91.0	97.4	93.8	93.0	93.3	95.3	95.7		95.6	94.2	92.8
	旅行・レジャーを控えている	92.9	90.6	95.3	93.8	93.4	93.6	91.8	92.1		94.6	91.4	92.8
	外食を控えている	91.0	87.7	94.4	92.5	90.2	91.2	90.6	90.7		92.4	87.8	92.8
	体験型エンターテインメント (ライブ・観劇・映画鑑賞など)を控えている	91.0	87.9	94.1	90.9	93.4	92.0	88.7	90.0		92.2	89.8	91.0
	不要不急の買い物控えている	90.6	87.2	94.1	89.2	89.5	90.7	90.6	92.8		91.6	89.6	90.6
	交友・交際を控えている	89.7	85.7	93.7	89.2	89.5	92.3	87.8	88.9		90.8	87.4	90.8
行動変化度	マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底するようにしている	95.6	93.4	97.9	93.4	94.8	95.2	96.2	98.2		95.8	96.4	94.6
	外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる	86.9	82.5	91.4	89.2	87.1	88.3	86.2	83.9		89.2	84.4	87.2
	十分な運動・栄養・睡眠をとるようにしている	79.5	77.4	81.6	78.0	80.4	76.0	79.9	83.9		81.4	76.4	80.6
	感染対策商品や日用品の備蓄をするようにしている	67.1	61.6	72.6	67.2	69.9	64.3	70.8	63.4		72.4	61.4	67.4
	家にいる時間が増えたので、 なるべく自分で料理をするようにしている	65.1	49.8	80.7	63.9	73.1	62.9	58.3	68.8		66.8	63.4	65.2
	外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている	59.5	56.3	62.8	66.8	64.7	58.1	54.5	55.6		62.6	56.8	59.2
	公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている	57.0	53.9	60.1	54.8	56.3	54.9	59.2	59.9		47.2	68.2	55.6
	家にいる時間が増えたので、 家の中でできる運動をするようにしている	55.9	51.0	60.8	60.6	59.4	56.5	45.5	59.1		60.6	53.2	53.8
	家にいる時間が増えたので、 スマートフォンやパソコンなどのゲームを利用している	55.3	55.8	54.8	76.8	65.7	55.2	46.4	36.2		56.0	57.0	52.8
	家にいる時間が増えたので、 動画や音楽などのストリーミングサービスを利用している	50.9	52.3	49.4	69.7	58.4	51.2	42.6	35.8		55.6	48.4	48.6
	人が密集しない屋外で運動をするようにしている	45.3	46.9	43.8	49.4	55.2	44.0	36.4	43.7		44.0	48.2	43.8
	できるだけ時差通勤・時差通学をするようにしている	43.0	45.0	40.9	47.3	43.7	44.0	41.1	39.4		46.2	37.2	45.6
	家にいる時間が増えたので、SNSの閲覧・投稿をしている	42.3	38.0	46.7	72.2	50.7	39.2	32.3	23.7		41.2	40.8	45.0
	できるだけテレワーク(在宅勤務)をするようにしている [有職者ベース]3月n=1,042/4月n=1,051/5月n=1,074	41.3	44.8	36.3	49.0	43.4	42.3	36.9	35.4		52.2	34.1	37.9
	人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる	32.5	34.6	30.5	34.9	38.5	32.8	27.3	30.1		31.0	35.2	31.4
	家にいる時間が増えたので、 モノを手作りしている(手芸、リフォーム、DIYなど)	31.2	28.1	34.4	30.3	36.0	27.2	29.8	34.1		32.4	29.8	31.4
	収入が減ったもしくは減りそうなので、副業を始めた/検討している	23.9	26.9	20.8	36.1	31.5	21.9	19.1	13.6		24.8	22.0	24.8
	家にいる時間が増えたので、通信環境の整備や家電の購入など、 家の中の環境を充実させている	22.9	25.8	20.0	32.4	30.8	22.1	16.9	14.7		22.6	22.8	23.4
	外でお金を使わないぶん、 普段より少し良いものを買うようにしている	20.9	21.9	20.0	24.1	26.9	20.5	15.7	18.6		23.0	18.4	21.4
	通常通りの活動ができないお店・団体を支援するようにしている	19.7	19.9	19.5	22.4	21.0	20.0	18.2	17.2		19.6	18.0	21.4
	家にいる時間が増えたので、 フリマアプリ・ネットオークションで購入をしている	19.5	22.3	16.8	23.7	27.6	20.3	16.3	10.4		18.8	19.4	20.4
	家にいる時間が増えたので、 フリマアプリ・ネットオークションで出品・販売をしている	19.1	20.9	17.3	27.8	26.2	18.7	13.8	11.1		20.8	17.2	19.4
	家にいる時間が増えたので、オンライン学習をしている	18.9	22.0	15.8	31.5	26.6	16.8	11.3	11.8		21.2	15.8	19.8
	家にいる時間が増えたので、 オンラインで飲み会や食事会をしている	18.6	19.6	17.6	40.2	25.2	14.4	7.8	11.1		20.0	18.4	17.4
	収入が減ったもしくは減りそうなので、 就職・転職・起業をした/検討している	18.1	20.8	15.4	26.6	19.9	18.4	14.4	12.9		19.6	15.8	19.0
	家にいる時間が増えたので、投資や資産運用をしている	17.7	26.6	8.7	20.3	28.0	17.1	11.9	12.5		18.6	17.4	17.2

全体より5pt以上高い
全体より10pt以上高い
全体より5pt以上低い
全体より10pt以上低い

補足資料④ 特別定額給付金の使い方

- 国民一人当たり現金10万円を支給する特別定額給付金の使い方について、最も多かったのは「決めていない」で35.7%でした。「明確に決めている」人は17.5%で、「何となく決めている」32.7%と合わせて約50%となりました。「全額貯金する」は14.1%で、20代では21.2%と比較的高くなりました。
- 「明確に決めている」「何となく決めている」人に具体的な使途について自由回答できたところ、主に、現在買えない欲しかったものや、やりたかったことに使うという回答と、生活上必要な様々な支出に充てるという回答とが挙がりました。また地域の店や知人の店にお金を使うなど、社会や地域経済のために活用したいという声も挙がりました。

■ 特別定額給付金の使い方 性別/年代別結果

		特別定額給付金の使い方			
※()内は調査人数		明確に決めている (%)	何となく決めている (%)	決めていない (%)	全額貯金する (%)
全体	(1500)	17.5	32.7	35.7	14.1
男性	(755)	17.2	31.0	38.4	13.4
女性	(745)	17.7	34.4	33.0	14.9
20代	(241)	17.8	34.9	26.1	21.2
30代	(286)	17.1	36.4	32.5	14.0
40代	(375)	13.9	36.0	36.0	14.1
50代	(319)	19.4	29.5	39.5	11.6
60代	(279)	20.1	26.2	42.7	11.1
首都40km圏	(500)	17.2	32.6	32.4	17.8
名古屋40km圏	(500)	17.2	32.0	38.6	12.2
阪神30km圏	(500)	18.0	33.4	36.2	12.4

■ 全体より5pt以上高い
■ 全体より10pt以上高い
■ 全体より5pt以上低い
■ 全体より10pt以上低い

■ 特別定額給付金の具体的な使途（「明確に/何となく決めている」人の自由回答から一部を掲載）

欲しかったものを買う やりたかったことをする	旅行や外食など、今できていないことに使いたい。	女性21歳・大阪府
	これを機に自宅を充実させたいので家具を買おうと思う。	男性28歳・神奈川県
	美味しい食べ物をテイクアウトして、家で食べたい。おしゃれなマスクを買いたい。	女性42歳・愛知県
	自分自身の10万円は家族のためではなく自分自身の洋服や化粧品に使う。家族の分はそれぞれに渡す予定。	女性48歳・京都府
	緊急事態宣言が解除されれば、映画館で観たい映画をたっぷり観賞して、帰りに高級料理店でフルコースを堪能。 2泊3日くらいでドライブを兼ねて国内旅行に行つて思い切り羽を伸ばします。	男性67歳・愛知県
必要な支出に充てる	学費に充てる。	男性20歳・奈良県
	家賃光熱費・携帯料金などの固定費と、学費や年金。	女性38歳・大阪府
	減給やボーナスカットが必ず発生するため、普段の消費にあてる。(食料品、日用品、税金、光熱費、通信費、保険など)	男性39歳・大阪府
	家賃と光熱費・通信費などの固定費で終わります。(休業中で無収入のため)	女性45歳・東京都
	払わなければならない税金に充てる。	女性60歳・愛知県
社会や地域経済のために活用する	新型コロナの影響で困っている事業者さんが作っている野菜や肉など、注文することで応援をしたいと思っている。	女性36歳・愛知県
	地元の飲食店での飲食で、今現在苦境に立たされている飲食店業界に少しでも還元したい。国内旅行にも行きたいと考えている。 この10万円については、貯蓄などに回す考えはあまりなく、停滞し切っている日本の経済を回すために使いたい。	女性40歳・岐阜県
	今困っている業態の知り合いのお店に行つて使いたいと思っている。	男性48歳・神奈川県
	今は行けないなじみの宿に行き、少しでも、助けになるようにしたい。	女性60歳・兵庫県
	医療関係者の支援のための寄付をしたいと思っている。	女性63歳・東京都

補足資料⑤ 来月力を入れたいこと(生活力点)

- 新型コロナウイルス影響下で、来月(6月)生活のどのようなことに力を入れたいかをきいたところ、「健康」77.1%、「睡眠・休息」72.1%、「家族との交流」70.3%が上位に並びました。
- 時系列で比較すると、5月調査では24項目中22項目で、4月調査の数値から増加しました。
- 特に増加幅が大きかったものは「友人・恋人との交流」(+26.0pt)、「趣味・遊び」(+22.8pt)、「買い物」(+19.6pt)となりました。いずれも緊急事態宣言下で自由に行うことが難しくなった活動であり、制約のある生活が長期化したことで、それらの活動への欲求が高まっている様子がうかがえます。
- 一方で「マスメディアでの情報入手」は4月調査から減少(-6.0pt)。新型コロナウイルスに関する膨大な情報に晒される日常が続く中で、少し距離を置きたい生活者の意識が垣間見えます。

■ 時系列推移(全体ベース・2020年4-5月)

※「力を入れたい」「やや力を入れたい」回答率
()内は調査人数

	スコア		差分
	2020年 4月調査 (1500)	2020年 5月調査 (1500)	4月→5月 pt
健康	73.1	77.1	+4.0
睡眠・休息	74.9	72.1	-2.8
家族との交流	59.4	70.3	+10.9
食事・飲酒	55.8	68.5	+12.7
趣味・遊び	44.9	67.7	+22.8
買い物	44.1	63.7	+19.6
友人・恋人との交流	32.8	58.8	+26.0
仕事	43.9	58.5	+14.6
家事	55.9	57.5	+1.6
貯蓄・投資	44.8	57.2	+12.4
エンターテインメント・コンテンツの鑑賞・閲覧	44.5	54.2	+9.7
ファッション・身だしなみ	34.6	48.3	+13.7
マスメディアでの情報入手	53.1	47.1	-6.0
インターネットでの情報受信	43.1	47.1	+4.0
美容	35.0	41.5	+6.5
環境保護行動	29.8	37.9	+8.1
学習・教養	28.3	35.9	+7.6
副業	25.2	30.5	+5.3
インターネットでの情報発信	24.5	27.9	+3.4
地域社会との交流	14.8	26.4	+11.6
育児	25.2	25.7	+0.5
社会貢献行動	15.7	23.8	+8.1
贈答	16.4	23.0	+6.6
介護	9.3	12.6	+3.3

5pt以上の増加

10pt以上の増加

5pt以上の減少

10pt以上の減少

(%) (pt)

補足資料⑥ 来月力を入れたいこと(生活力点)

- 新型コロナウイルス影響下で、来月(6月)生活のどのようなことに力を入れたいかについて、男女別でみると、「家族との交流」や「友人・恋人との交流」、「食事・飲酒」、「買い物」など幅広い項目で、男性よりも女性の数値が高くなりました。
- 年代別では、「食事・飲酒」や「趣味・遊び」、「買い物」など幅広い項目で20代が最も高くなりました。多くの項目では、年代が上がるに連れて数値が低くなる傾向もうかがえます。
- エリア別では、男女別・年代別ほど大きな差異はみられませんが、名古屋40km圏では「友人・恋人との交流」、「インターネットでの情報受信」などについて、他エリアと比較して低くなっています。

性別/年代別結果

※「力を入れたい」「やや力を入れたい」回答率
()内は調査人数

	全体 (1500)	性別		年代					エリア		
		男性 (755)	女性 (745)	20代 (241)	30代 (286)	40代 (375)	50代 (319)	60代 (279)	首都 40km圏 (500)	名古屋 40km圏 (500)	阪神 30km圏 (500)
健康	77.1	74.4	79.9	76.8	78.7	77.6	75.9	76.7	81.0	73.8	76.6
睡眠・休息	72.1	68.3	75.8	75.5	73.8	72.8	71.2	67.4	72.0	69.8	74.4
家族との交流	70.3	65.3	75.4	67.6	75.9	70.9	67.7	69.2	71.4	69.8	69.8
食事・飲酒	68.5	60.7	76.5	75.5	69.9	68.0	64.6	66.3	70.4	65.0	70.2
趣味・遊び	67.7	68.7	66.7	77.6	71.3	68.0	62.1	61.6	66.6	68.4	68.2
買い物	63.7	55.2	72.3	72.6	66.1	61.6	61.1	59.5	64.0	62.4	64.8
友人・恋人との交流	58.8	52.8	64.8	71.8	62.9	56.5	53.3	52.7	61.0	53.6	61.8
仕事	58.5	63.2	53.8	66.4	62.6	62.9	58.0	42.3	60.8	59.4	55.4
家事	57.5	49.8	65.2	64.7	62.2	53.3	57.4	52.0	60.0	56.2	56.2
貯蓄・投資	57.2	57.7	56.6	71.4	67.1	61.1	45.5	43.0	56.8	57.0	57.8
エンターテインメント・コンテンツの鑑賞・閲覧	54.2	48.6	59.9	64.3	58.0	52.3	52.0	46.6	57.0	52.0	53.6
ファッション・身だしなみ	48.3	32.8	63.9	61.0	51.0	46.4	43.9	41.9	51.0	44.8	49.0
マスメディアでの情報入手	47.1	42.8	51.4	49.4	44.8	44.8	45.8	52.0	45.6	47.0	48.6
インターネットでの情報受信	47.1	45.6	48.6	52.3	51.7	48.5	45.5	37.6	49.8	41.6	49.8
美容	41.5	22.5	60.7	54.8	44.1	41.6	35.7	33.7	41.6	37.6	45.2
環境保護行動	37.9	28.7	47.2	34.9	33.9	39.2	35.7	45.5	41.2	34.6	38.0
学習・教養	35.9	36.0	35.8	47.7	43.7	37.1	28.8	24.4	39.6	35.0	33.2
副業	30.5	31.0	30.1	44.8	39.9	29.9	26.0	14.7	30.2	29.8	31.6
インターネットでの情報発信	27.9	28.3	27.5	39.4	32.2	25.9	22.6	22.6	30.4	25.0	28.4
地域社会との交流	26.4	25.6	27.2	27.0	26.2	26.7	21.9	30.8	23.8	27.4	28.0
育児	25.7	24.0	27.5	22.8	42.7	36.8	15.7	7.5	25.0	27.0	25.2
社会貢献行動	23.8	23.3	24.3	23.2	19.2	26.1	24.5	25.1	22.2	24.6	24.6
贈答	23.0	18.1	27.9	26.6	23.8	22.1	20.7	22.9	24.8	20.4	23.8
介護	12.6	13.1	12.1	12.4	7.0	9.6	17.9	16.5	10.6	10.6	16.6

全体より5pt以上高い 全体より10pt以上高い 全体より5pt以上低い 全体より10pt以上低い (%)

- 緊急事態宣言による自粛要請が解除されたらまず最初に何をしたいかを自由回答できいたところ、国内外の旅行や百貨店・商業施設等での買い物、美容室、映画館など現在行けていない場所へ行きたいという「行けなかった場所に行く」という回答や、友人や同居していない親類など「会えなかった人に会う」という回答が目立ちました。
- 一方で、緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスの脅威が完全になくなっていないことから、「現状の生活を維持する」との声も挙がっています。

■ 緊急事態宣言解除後にしたいこと(自由回答から一部を掲載)

行けなかった場所に行く	買い物など些細な理由でも構わないから、できたら毎日外出したい。行きたいお店に行って買い物をしてストレス発散したい。	女性32歳・兵庫県
	美容室にカラーをしに行きたい。子供と水族館や動物園に行きたい。	女性33歳・大阪府
	映画館で映画を沢山観たい。沢山コンサートに行きたい。沢山芝居を観たい。	男性45歳・神奈川県
	2月に北海道旅行を計画していたのに流れてしまった。北海道に行きたい。	女性58歳・愛知県
	中国への出張を再開します。仕事上、出張して現地・現物で打ち合わせしないと効率が悪いので。	男性63歳・愛知県
会えなかった人に会う	学校に行きたい。友達に会いたい。	女性20歳・東京都
	友達とご飯を食べに行ったり、映画を見に行ったりしたい。	男性21歳・大阪府
	友達と会ってなんてことのない会話を楽しみたい。	男性28歳・埼玉県
	親族に会ってないので、みんなで集まって美味しい物でも食べたい。	女性50歳・愛知県
	身内の病院のお見舞い。	男性55歳・大阪府
現状の生活を維持する	しばらく様子を見た方が安全だと思うので自宅でニュースを見て情報収集をしたい。	男性23歳・東京都
	解除されてもウイルスは完全にいなくなっておらず、むしろ解除されることにより、より感染のリスクが高まると思うのでこれまでと同じ生活を続けたいと思う。	女性26歳・千葉県
	解除されても感染が怖いのですぐには出掛けられないと思う。コロナが完全に終息したら旅行に行きたいです。	女性49歳・岐阜県
	解除されても変わらない生活に耐えられる環境を今のうちにつくっておき、特に何もしないようにする。	男性52歳・大阪府
	特になにもしない。解除が感染しない保証じゃないから。新型コロナ終息宣言でも出れば、温泉でも行くかもしれない。それは、2年後でしょうけど。	男性63歳・神奈川県

■ 質問項目(質問文)

【新型コロナウイルス影響下での生活自由度】

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0～100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

【新型コロナウイルス影響下での意識・行動】

新型コロナウイルス感染拡大を受け、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつお答えください。
(単一回答:あてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／あてはまらない)

【特別定額給付金10万円の使い方】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急経済対策として、国民一人あたり10万円が給付されるという発表がありました。
あなたはそのお金を何に使うか決めていますか。現時点のイメージで構いませんので、あてはまるものをひとつお答えください。
(単一回答:明確に決めている／何となく決めている／決めていない／全額貯金する)
あなたはそのお金をどんなことに使いたいですか。どんなことでも構いませんので、できるだけ具体的にお答えください。(自由回答)

【緊急事態宣言解除後にしたいこと】

緊急事態宣言による自粛要請が解除されたら、あなたはまず最初に何をしたいですか。
どんなことでも構いませんので、できるだけ具体的にお答えください。(自由回答)

【来月力を入れたいこと(生活力点)】

来月(6月)、あなたは次にあげる生活行動にどの程度力を入れたいですか。
各項目ごとに、あてはまるものをひとつずつお答えください。
(単一回答:力を入れたい／やや力を入れたい／あまり力を入れたくない／力を入れたくない・自分にはあてはまらない)

調査時期	2020年5月7日(木)～11日(月) 2020年4月2日(木)～6日(月)＝政府の緊急事態宣言前 2020年3月5日(木)～9日(月)
調査地域	①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県) ②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県) ③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者	20～69歳の男女
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
サンプル数	合計1,500人

<4月・5月調査>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1500

<3月調査>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	147	190	154	140	755
女性	119	143	186	150	147	745
合計	243	290	376	304	287	1500

調査方法	インターネット調査
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<参考>

第1回調査(4月20日発表) <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/81047/>

<備考>

本調査は当面の期間実施し、毎月第3～4週頃に発表する予定です。
(今後の状況変化により、調査内容等を変更する可能性があります)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 玉・大野 koho.mail@hakuhodo.co.jp